

整理No.		2017-30	労働災害状況調査表			
発生会社 事業所						
災害発生日時		2017年 3月 20日(月) 15時15分 天候(晴れ) 温度( 21℃)湿度( %)				
災害区分		不休災害 休業災害(休業: 日)				
被災者	部門	生産部門		雇用形態 (正社員)、派遣、契約、その他(パート)		
	年齢	20歳	性別: (男) 女	勤続年数 1年11ヶ月	経験年数 1年11ヶ月	
	傷病名	打撲				
	傷病部位	胸部				
災害発生状況	<p>当該ワニス合成担当者が前直班より反応釜のサンプルラインが詰まっているとの引き継ぎを受けた。当事者はサンプルラインの詰まり状況を確認するため、サンプル口に取り付けてあるL字配管のエアバルブを閉め、L字配管のカムロックを外した際に内圧が掛かったままであったため、L字配管が勢いよく外れて胸部を打撲した。病院で診察を受けた結果、骨には異常なく胸部打撲との診断結果であった。</p>		<p>状況概略(写真orイラスト)</p>			
	災害の型 <sup>※1)</sup>	3. 激突		作業の形態: 定常 (非) 定常、その他( )		
	起因物: L字配管	特記事項				
	原因分類	<p>1. 人的要因(man): 配管に内圧が掛かっていることが予想できなかった。</p> <p>2. 物に関する要因(machine):</p> <p>3. 環境要因(media):</p> <p>4. 管理的要因(management): 内圧が掛かっていることが圧力計などで確認できないラインであった。</p>				
対策	<p>① 修正処置としてサンプル採取の際に正面に立たないことを掲示した。</p> <p>② 課員に対する作業方法の周知・教育を行った。</p> <p>③ 圧力計の設置を検討する。</p> <p>④ 詰まりづらいサンプルラインの検討を行う。</p>					
	対策分類 <sup>※2)</sup>	1-4、2-4				

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)